



長崎がんばらんば国体の高等学校野球(軟式)が10月14日(火)から五島市で開催されました。長崎県代表として地元の奈留高校が出場し、兵庫県代表の神港学園と対戦しましたが、惜しくも初戦突破はなりませんでした。

写真は西日本新聞社提供

9月定例会は、9月10日から9月30日までの21日間の日程で開催されました。16日から18日には、10名の議員が一般質問を行い、19日からは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、平成26年度補正予算6件、条例35件、議会議案2件、決議1件を可決し、請願1件を採択、陳情3件を結審し、人事案件7件を同意しました。

9月定例会の あらまし

目次

補正予算の主な事業

P2

一般質問

P3

委員会審査

P8

議決結果、賛否一覧表

P9

要望書、編集後記

P10

補正予算の主な事業

体験型観光受入環境整備事業 76万7千円

体験型観光を推進していく中で、担い手拡大の支障となっている各民家の受入環境を整備するため、必要な箇所の住宅改修に対する補助を行う。

また、五島市の主要な体験のひとつとなる漁業体験について、遊漁船登録数の増加を図るため、登録に必要な経費を補助することと、観光客（修学旅行）の受入体制を整備する。

浄化槽設置整備事業の追加 3千42万円

平成二十六年度から「海の再生プロジェクト事業」として補助額を増額した効果で、補助申請件数が前年度より伸びており、今年度の実績が当初計画していた二百五十基を上回ることが見込まれることから、五十基分を追加して浄化槽の整備を行う。

五島食肉センター施設 整備事業 1千38万3千円

全国的に発生した豚流行性下痢（PED）は、五島市においても千六百頭余りの死亡が確認され、大きな被害を受けており、家畜の安全対策の強化が求められているところである。五島食肉センターは市内の肉用牛及び豚が集められる施設であり、特に厳重な対策を講じる必要があることから、今後のPEDその他家畜伝染病の防疫

五島家畜市場にある消毒ゲート



五島食肉センターに設置

対策として、食肉センター入口に家畜出荷用トラックの消毒ゲートを設置するとともに、衛生上の観点から、斜路及び排水処理施設周辺の外溝の舗装工事を行う。

水産物処理・加工施設 整備事業 1千万円

枕島は唯一の産業といえる漁業で地域を支えており、島内で漁獲された水産物を主原料に小規模工場場で製品化した商品を都市部での物産展を中心に販売しているが、需要に対して加工品の供給不足という状況が続いている。さらに付加価値の高い水産加工品の増産と安定供給を図ることを目的とした水産加工施設の整備を行う。

自主防災組織結成促進事業 257万8千円

長崎県地域の元気づくり防災力向上支援事業費補助金を活用して、

新規結成する自主防災組織に対して、有事の際に必要な防災用備品（消耗品）を配備する。

また、コミュニティ助成事業により、防災訓練及び有事の際に欠かせない防災用備品（消耗品）を自主防災組織に配備する。



パック毛布



防災かまどセット

五島市イングリッシュ キャンプ事業 65万2千円

五島の子どもたちを世界で通用するグローバルな人材に育てる「プロジェクトG」の一環として、英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とした「五島市イングリッシュキャンプ事業」を行う。

一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)

問 国県道等の早期改良を

答 県に対し、引き続き要望を重ねていきたい



中村 康弘 議員

質問 ①国道三百八十四号線（J

A本店交差点）、②県臨港道（樫ノ浦く大泊）③県道河務福江線（河務く戸岐ノ首）の改良を。

答 県に尋ねたところ、①については本年度中に着工したい。②については、年内に地元説明会を



国道384号線のJ A本店交差点

開き、二
十八年度
の完成を
目指した
い。③に
ついては、
今後の検
討課題区
域と位置
づけてい

る。との回答を得ている。

新図書館建設計画の見解は

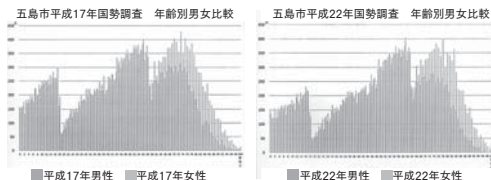
質問 図書館の認識と新図書館建設計画についての見解は。

答 新図書館は次世代を担う子ども達の希望を叶えるためにも必要である。現時点では市民の皆様の意見等を聞きながら、規模縮小の方向で、現在のところ二十八年
度から三十一年度に、より多くの
五島産木材を使用して整備してい
きたい。

選挙違反対策を

質問 選挙違反对策、明るい選挙推進啓発を。

答 選挙違反は、金銭や物品を渡して投票を依頼する買収罪、候補者からの寄付や候補者に対して寄付を求めることなど様々な違反があり、犯罪であり、選挙権・被選挙権が停止される。市民が知らず知らずのうちに違反に巻き込まれないよう、常日頃から市の広報媒体を活用し、選挙違反を含む選挙制度について周知を図っていきたい。



策が対策につながるため、関係各課長で構成する「人口減少問題対策会議」を立ち上げ、早急に検討し、その作業部会の位置づけとして子育て世代の若手の職員によるプロジェクトチームも立ち上げた

問 本市の人口減少問題についての取り組みは

答 「人口減少問題対策会議」を立ち上げ、対策を考えたい



相良 尚彦 議員

質問 本市の人口減少についての対策や取り組みは。

答 人口減少対策については定住人口増加のための良質な雇用の場の確保が重要である。また、出生率を高めるため、結婚支援、妊娠・出産支援、子育て支援、Uターンへの支援、さらには元氣な高齢者を増加させることも必要と考

える。市が取り組むほとんどの施策が対策につながるため、関係各課長で構成する「人口減少問題対策会議」を立ち上げ、早急に検討し、その作業部会の位置づけとして子育て世代の若手の職員によるプロジェクトチームも立ち上げた

さらに医療・福祉・教育・産業などの分野との意見交換を行う場も設け、市を挙げて対策を考えていきたい。

ピロリ菌検査の導入を

質問 特定検診の胃がん検査に有効なピロリ菌検査の導入と助成を。

答 ピロリ菌検査の導入について、医師会へ検討をお願いしている。県内において平戸市と島原市が実施しており、西海市も現在検討中である。今後さらに医師会と協議し、対象者や実施方法、助成額も含めて検討していきたい。

大腸がん術後のストーマケア支援拡大を

質問 大腸がん術後のストーマケア支援について、給付限度額範囲内でのストーマ用品の選択肢拡大を。

答 現在、ストーマ装具として、畜便袋を助成しているが、今後は障がい者の利便を図るため、皮膚保護剤や袋を身体に密着させるテープなども助成の対象とするなど支援を拡充していきたい。

問 長崎県スポーツ合宿所の存続を

答県に対して存続に向けて働きかけていきたい



草野 久幸 議員

質問 長崎市にある県スポーツ合宿所が閉鎖される話がある。離島地域の子ども達には大変大きな問題であるが、市の見解は。

答弁 現在、本市の児童・生徒が長崎市内で開催される大会や遠征試合時に利用しており、大半は本市の利用者と伺っている。また、市民団体による存続を求める署名活動も行っていると聞いており、今後も保護者の負担軽減のためにも、県に対し存続してもらおうよう働きかけたい。



長崎県スポーツ合宿所

世界遺産登録による経済効果は

質問 本市の将来について、世界

遺産登録による経済効果は。

答弁 離島で既に登録されている屋久島においては、登録後五年間で来訪者が約30%増加し、人口も横ばい状況で、観光客は、年平均で約6%の増加となっている。

増加率と長崎県産業連関表で試算すると、本市では、一年間に約一万二千人の増加となり、経済波及効果は、約五億円となる。ただ、数年経過後に、来訪者が減少するところもあるため、将来を見据えた受入体制をしっかりと考え、地域経済の活性化につなげていきたい。

海洋発電及び潮流発電事業による効果は

質問 海洋発電の実証フィールド及び潮流発電技術実用推進事業による効果予測は。

答弁 平成三十四年までの前期基本計画では、実証フィールドを利用する事業者数は十三業者、潮流発電や浮体式洋上風力発電の実用化によって発電する電力量は三十二万五千八百メガワットアワーで、関連する雇用者数は五十人を目標としている。

問 公契約条例の制定を

答制定の可否を含め、慎重に検討していきたい



橋本 憲治 議員

質問 本市が発注する公共事業、役務・製造の委託、物品発注等の事業に従事する労働者の公正な賃金と労働条件が確保できるようにする公契約条例を制定すべきでは。

答弁 公契約条例を制定する意義として、地域社会の賃金水準を引き下げない等の効果があると理解しているが、制定にあたっては、条例の適用対象範囲等検討を行う必要がある、自治体側のチェック体制等の問題もあるので、条例制定の可否を含め、慎重に検討していきたい。

五島中央病院の理学療法士の増員を要請すべきでは

質問 五島中央病院では、他の病院で手術を受けた患者は、リハビリを受けることができない。理学

療法士の人員不足が原因であり、増員を要請すべきでは。

答弁 五島中央病院に確認したところ、入院リハビリが主体となっており、外来は当院入院に引き続いた患者や専門性の高い高次脳機能障害の方への対応で精いっぱいの状態である。業務量や収支状況等を考慮し、今後検討していくとのことで、市としても各関係機関と連携し、協議していきたい。



非常災害時支援協議会設立への支援は

質問 高齢者や障害者・子どもの自主避難を支援していく組織が崎山・長手地区に設立された。今後、各地区に設立していくために、市はどのような支援を行うのか。

答弁 民生委員等への避難行動要支援者名簿情報の提供後、個別計画を策定する予定である。協議会の設立及び支援が必要な場合は、市も協力していきたい。

問 世界遺産登録による交流人口増加に対する対策は**答** 交通の確保・宿泊・ガイド等早急に整備し、教会守を設置する

谷川 等 議員

質問 世界遺産に登録されると観光客が増加し、対応に苦慮すると思うが、交流人口増加に対する対策は。

答弁 先進登録地の多くでは、国内外での知名度が高まり、来訪者が増加している。久賀島では、すでに例年より多くの観光客が来島しており、島内での交通の確保、食事の提供、土産物の販売、宿泊施設、ガイド等について、早急に整備する必要がある。

また、静寂な教会の環境を守るためにもコント



世界遺産推薦決定された「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の旧五輪教会堂

ロールが必要になると考え、教会守の設置を早急に行っていきたい。

産業技術及び第一次産業後継者の人材育成を

質問 人材育成を行うための職業訓練校設立を行う考えは。また、第一次産業後継者育成について市の考えは。

答弁 県立五島高等技術専門校は、県下の施設統合により、平成十三年三月に閉校となっている。現在の市内雇用情勢をみると、技術者不足の実態が伺えるので、今後、職業訓練機能の確保について、関係機関とも調整を図り、働きかけていきたい。

第一次産業後継者育成の農業分野では、市の総合計画の中で、担い手や後継者の育成確保は主要課題と位置づけており、今後も積極的に進めていきたい。また、水産分野では、定置網、まき網などの従業員となる雇用型と市が実施している漁業体験や長期研修を行う独立型の募集方法で新規就業者の確保を行い、独立後五年間の経営支援については、引き続き国、県へ要望していきたい。

問 土砂災害対策を**答** 災害予防に努める

木口 利光 議員

質問 本市の土砂災害危険箇所七百二十一箇所の災害対策は。

答弁 人命を守るための情報発信については、防災行政無線、広報車、携帯電話、市のホームページ、ケーブルテレビ等を活用する。

また、町内会での連絡網づくりや自主防災組織強化を進めていきたい。

ハード整備については、土石流・地すべり等から人命を守るため人家が多く、危険度の高い地区から順次事業に取り組んでいきたい。



岐宿町小川原地区の急傾斜地崩落対策事業で山膚を削って、法枠工事の準備をしているところ

人口減少対策を

質問 日本創成会議発表の人口減

少数値を受けて本市の現状認識と今後の対策は。

答弁 今回の二十四十年における二十歳から三十九歳までの女性人口が四分の一になり、人口も現状から半減するという発表は現実味のある数字であり、行政・民間のオール五島市で取り組むべき最大の課題である。対策としては、農林水産業、再生可能エネルギー、世界遺産登録等による雇用確保が何より重要である。さらに、結婚・妊娠・出産及び子どもの医療費助成等の子育て支援、U・Iターン支援にも対策強化していきたい。

世界遺産登録に伴う受け皿の整備を

質問 世界遺産登録による雇用創出効果と宿泊施設、教会守、案内板等の受け皿を整備すべきでは。

答弁 宿泊施設については、体験型観光として、民泊に力を入れており、今年度末には四百人程度の収容人数の増加が見込まれる。また、五輪・江上には教会守の方を配置し、信仰への配慮を図りたい。なお、市内教会への来訪者のため、すべての教会への案内板設置や市全体の教会巡りルートマップを作成していきたい。



閉鎖されている五島海陽高校の寮

問 五島海陽高校の寮を合宿所として有効活用しては

答 当面、現在の宿泊施設・民泊で対応



林 睦浩 議員

質問 スポーツ合宿制度について、現在閉鎖されている五島海陽高校の寮を合宿所として有効活用しては。

答弁 五島市での合宿は、気象状況の変化による交通手段の欠航等に影響されるほか、観光客の多い夏場には、宿泊所確保が難しく、合宿を見送る団体があることも事実である。しかしながら、スポーツ合宿を進める目的のひとつとして、市内への経済波及効果があるので、当面、市内の宿泊施設の活用や民泊機能の増強などにより対応していきたい。

入札制度について、最低制限価格の引き上げを考えては

質問 地域社会を担う基幹産業である建設業を取り巻く経営環境は厳しい状況であり、工事の履行確保や品質確保を確実なものとするため、最低制限価格の引き上げを考えては。

答弁 最低制限価格の改正について、効果等を検証しながら、地域の実情に沿った方法を研究しているところである。現在の状況を勘案すると、もう少し引き上げの余地があると考えられるので、来年度からの改正に向け、実施方法等を検討していきたい。

問 消費税の10%増税について中止を求める考えは

答 国が判断するものであり、中止を求める考えはない



江川美津子 議員

質問 共産党市議団の市民アンケートでは、六十三・五%が暮らしが悪くなったと回答している。市民の暮らしを守る観点から、国に対して、10%への増税中止を求める考えは。

答弁 経済情勢をみて、国が判断するとしているので、市として中止を求めることは考えていない。

子どもの医療費助成の拡充を

質問 子どもの医療費助成について、現行の小学校入学前までを中学校卒業までに拡充する考えは。

答弁 これまで財源確保の問題や医療費抑制の観点から困難だと答弁してきたが、人口減少、少子高齢化対策を検討する中で、子どもの医療費についても検討していきたい。



どの子ども元気に！！

子育て新制度について保護者等への説明は

質問 子ども・子育て支援新制度について、説明は行われているのか。

また、本市が実施している保護者負担軽減の施策や保育士等の加配など現在の基準は維持されるのか。

答弁 富江地区については公聴会時に説明を行っている。今後は福江幼稚園や各へき地保育所等でも説明会を行う予定であり、子育て世代の負担増にならないよう協議し、早急に結論を出したい。

問 学生たちの「私が市長になったら」を聞いての感想は

答 本市が抱えている問題をしっかりと捉えていた



網本 定信 議員

質問 市制施行十周年記念として開催された記念研究「私が市長になったら」を聞いて市長の感想は。

答弁 九人の中学生と、九人の高校生により構成された実行委員会より提言してもらい、本市が抱えている問題をしっかりと捉えており、大変頼もしく感じた。また、

今回の発表をしっかりと認識しながら、今後の市政運営を行っていききたい。



子ども市議会の様子

子ども市議会についての感想は

質問 五年ぶりに行われた子ども市議会について市長の感想は。

答弁 市内十一の中学校から二十三人の子ども議員が出席し、開催。

一般質問では、身近な事項から、世界遺産や少子高齢化など本市の将来に亘る事項まで、礼儀正しく、堂々と質問や提案を行っていた。

中学生が本市についてどう思っているのかを知り、また、参加した中学生には、本市についてより深く理解し、真剣に考える良い機会となったと考えている。または是非開催したい。

地域再生、人口減少対策についての取り組みは

質問 国が来年度より地方の地域再生、人口減少対策に取り組むとのことだが、本市は今後、どのように取り組むのか。

答弁 定住人口増加のために雇用の場の確保、結婚支援、妊娠・出産支援、子育て支援・U・Iターンへの支援、元気な高齢者を増やす施策を展開していく。国の平成二十七年予算では、各省庁とも人口減対策を打ち出しており、市としてこれらの政策をしっかりと認識し、取り組める施策については、いち早く検討していきたい。

問 いそ焼け対策への取り組みは

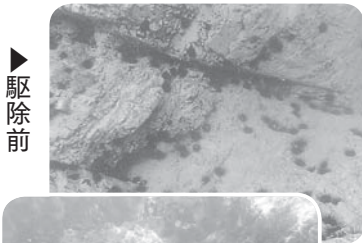
答 いそ焼けの原因となる環境対策を総合的に取り組んでいきたい



片峰 亨 議員

質問 本市のいそ焼けは深刻な状況にある。豊かな海を取り戻すための今後の各課の対策は。

答弁 水産課においては、平成二十二年に漁業者、漁協、県、市で組織したいそ焼けプロジェクトチームを中心に、成果が現われてきた久賀島の食害駆除、崎山・大浜の食害魚駆除、三井楽・福江の小型藻場礁設置をモデルに根気強く効果を確認しながら、全市的に取り組んでいきたい。農林整備課



▶ 駆除前

◀ 駆除後

ガンガゼ駆除の様子

においては、これまでの切捨間伐主体の森林整備から、磯焼け対策に効果的な利用間伐へと転換を図り、温暖化の防止や水源涵養の機能を高め、五島の豊かな海を守るため、漁業環境に配慮した農林業の基盤整備に努めたい。建設課においては、多自然川づくり基本指針に沿って、川が本来有している生物の生息・繁殖環境を促す工法として、環境保全型ブロック護岸や、栗石根固めでの災害復旧など、一部を新たな工法で整備を行っていききたい。生活環境課においては、生活排水もいそ焼けの一つの要因と考え、合併浄化槽の普及促進に努めたい。

小規模企業基本法に対する市の対応は

質問 小規模企業基本法成立に伴い、商工会、商工会議所の位置づけが重要となってくるが、本市の今後の対応は。

答弁 市として果たすべき役割などについて、国・県の動向を見ながら、地域経済の活性化及び地域住民の生活向上につながるよう努めたい。

委員会分科会の審査

総務委員会

問 体験型観光受入環境整備事業の住宅改修に対する補助の概要は。

答 体験型観光の受入となる民家の衛生水準の向上を図り、利用者の利便性・快適性を向上させるために、調理場、洗面所、トイレ、浴室等の環境整備を行うことにしている。また、旅館業、簡易宿舎の許可を取るために必要な住宅改修について、三分の二を補助する事業である。

問 自主防災組織結成促進事業で配備される防災備品と、保管場所は。

答 長崎県地域の元気づくり防災力向上支援事業補助金やコミュニティ助成事業を活用し、新規結成する自主組織や防災訓練に必要な防災備品を配備するもので、要望の結果、ハロゲン投光器セット、発電機、電池メガホン、防災雨具セット等を



自主防災組織加入の説明会

避難場所や集会所等に配備する。

要望 備品管理の徹底と、各種災害に対応できる避難場所の見直し、自主防災組織の訓練については、町内会と消防団の連携を。

文教厚生委員会

問 臨時福祉給付金の進捗状況と申請率向上のための今後の取り組みは。

答 九月十七日現在の申請率は、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金を併せて約七十五％となっている。現在、書類不備の方に対しては、電話や手紙で連絡したり、未申請の方に対しては、施設入所先や引っ越し先等をあらゆる手段で調査し、再度、文書を送付したりして申請を促している。今後は、対象者を絞り込み、連絡がとれない方に対しては、支所職員の協力を得て、自宅訪問も考えている。

問 幼稚園費において長時間預かり保育支援事業三百四万円が増額計上されているが、その詳細は。

答 待機児童を解消するとともに子どもを安心して育てることができるとする体制を整備するため、

「私立幼稚園における長時間預かり保育支援事業」が本年度創設されたことから、今回、長時間預かり保育を行う双葉幼稚園に対して、運営に要する費用の一部を補助するものである。また、補助金の交付要件が事業開始後五年以内に幼稚園型認定こども園へ移行することになっている。

経済土木委員会

問 農作物等有害鳥獣対策事業としてイノシシの拡散防止柵の設置に係る経費が予算計上されていることから、今回の拡散防止柵の設置で、どのような効果が図られるのか。

答 拡散防止柵の設置については、福江島北部においてイノシシの生息が確認され、平成二十四年度より年次的に岐宿町ドンドン淵付近や奥の木場付近、戸岐ノ首、唐船ノ浦付近などの高密度生息域からのイノシシの拡散防止を目的に設置を行ってきた。

これまでの拡散防止柵の設置により高密度生息域からの拡散は食い止めているものと考えている。

今回の補正分においては、



イノシシの拡散防止柵

これまでに食い止めた高密度生息域を囲い込むことで、これ以上の拡散とその中での徹底捕獲を目的に、岐宿町河務地区に四千mの拡散防止柵の設置を行うものである。

問 水産物処理・加工施設整備事業として、椀島の伊福貴町に整備される水産加工施設のための補助金が予算計上されていることから、事業主体となる組合の設立状況と平成二十九年度の事業の成果目標が平成二十五年度の2倍に設定されているがどのように見込んだのか。

答 当該事業は、国の離島活性化交付金を活用する事業で、交付金の交付要件が単独の企業へは補助できないことになっているため、現在、椀島の加工業者を中心に市内の販売業者二社と事業組合をつくり事業を実施する予定としている。

また、平成二十九年度事業における成果目標を魚の利用量十トン、製品出荷量九・六トン、雇用を十二名と見込んでいることについては、これまで注文が入っても加工場の規模の関係で対応できなかった分が、今回の事業実施にともない加工場の規模拡大により可能となること、また商品開発の目途がついていることから、増産分を含めて総合的に判断し最終的な目標を設定した。

平成27年度予算編成に関する要望決議

五島市では、現下の厳しい財政事情のなか鋭意努力していることは理解するものの、苦しい財政下にあっても住民生活の維持・向上のため、五島市議会として、昨年度に引き続き新年度予算編成にあたっての要望を決議する。

1. 五島市支所地域振興計画の実現に向け、過疎債ソフト事業を活用した地域振興に取り組み、各支所への最大限の予算確保に努められたい。
1. 人口問題に対処するための定住促進に向けた、Uターン促進事業、集落支援制度、婚活支援など関連予算の充実に努められたい。
1. 各支所の住民サービス向上のために、緊急時に対処するための予算確保に努められたい。
1. 介護保険料及び国民健康保険税の抑制につながるような施策を実施し、その予算確保に努められたい。
1. 汚水処理人口の拡大に向け、さらなる合併処理浄化槽普及率の向上を図られたい。
1. 住宅・店舗リフォーム資金補助制度の継続に努められたい。
1. 有害鳥獣（シカ、イノシシ）対策をさらに強化するため、関係予算の継続に努められたい。

以上、決議する。

平成26年9月30日

長崎県五島市議会

編集後記

秋が深まる中で、朝夕の肌寒さを感じる日々ですが、国体の五島市開催においては、数多くの市民ボランティアの皆様にご協力頂いたことと思います。
おもてなしあふれる活動、ご苦勞様でした。
さて、九月十七日には「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」のユネスコへの国内推薦が正式決定されました。

「祈りの島・五島」

の受入態勢づくりは、これからが正念場です。市民の皆様の世界遺産本登録へのご理解とご協力をお願いします。
九月議会では、島の



議会広報特別委員会

委員長	木口 利光	委員	林 睦浩
副委員長	明石 博文	委員	中村 康弘
委員	野瀬 健一	委員	野茂勇司臣

(木口 利光)

人口減少問題が論戦の大きなテーマとなりました。豊かな地域資源に恵まれた五島市が、官民の総力をあげてこの問題に正面から向き合うことが重要だと思います。
足の引っ張り合いを避けつつ、ともに汗をかきあい、次世代の子供たちにより良い五島の島を託したいものです。

十二月定例会は十二月三日（水）開会予定です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。

<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>